

【評価対象年度 2020年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	玉川学園子どもクラブこころ児童館		
施設概要	【所在地】 町田市玉川学園3-35-45 【開設年月】 2003年 【開所日時】 月曜日～土曜日 / 10時～18時 【建物面積】 延床面積439.2㎡ 【建物構造】 鉄筋コンクリート造(一部木造)1階 【施設内容】 多目的ホール、図書コーナー、幼児コーナー、母親コーナー		
設置目的	楽しい遊びと子どもの文化創造の場を提供し、児童の健全な育成を支援するため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市子どもセンター条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-4097
施設ホームページURL	http://www.korokoroidoukan.com/		

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 子育て・子育て支援タグポート	法人番号	6012305001229
指定管理者所在地	町田市玉川学園2-3-37		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)子どもクラブの事業の実施に関する業務…遊びの提供および子育て支援事業等 (2)子どもクラブの使用の承認に関する業務…施設の貸し出し等 (3)子どもクラブの施設および設備の維持管理に関する業務…点検、修繕等 (4)その他市長が指定した業務		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
地域への貢献、相互支援と広がり	毎年度	大学生の実習を9月以降、計7名受け入れた。幼児を対象とした合同防災訓練を11月16日に実施した。
多種多様な児童館事業 ・新しい事業「シリーズ「アルケミストのしぜん工作」 ・夏休みの新事業「ドライバーを持って集まろう！自転車解体屋を募集します」	毎年度	提案時のアルケミストのしぜん工作はレギュラー企画となり、夏休みの新事業も行うことができた。それに加えて、「ウイズコロナの小春祭」、「棒サッカーこころカップ」、「自然科学クラブ」等新たな事業もコロナ禍ではあったが取り組んだ。
自主事業「まち・まるごとオレンジ大作戦」 ・近隣施設のデイサービス桜実会と連携し、高齢者と子どもと一緒に調理活動を行うことで交流を深める。	毎年度	自主事業である「まちだ〇ごと大作戦 棒サッカーで地域を元気に大作戦」を11月に実施し、子どもたちと高齢者を含めた地域の住民とスポーツを通じた活動で交流を深めた。

3. 昨年度の課題

内容	①館外事業の充実 ②コロナ禍での来館者数増加の努力 ③子どもたちの自主的な活動
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	B	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	昨年度の課題については、コロナ禍においても館外事業を行い、遊びの機会を提供していたことや、子どもたちが主体的に小春祭を作り上げる等、来館者数を増加させる努力をされており、安定した運営を行っていたと評価できる。サービスの質については、「来館者数」は低い水準であったが「利用者満足度調査」と「事業参加率」は高い水準であり、質の高いサービスを提供していたと評価できる。業務履行状況及び財務・収支状況については、要求水準を達成した。以上を勘案し総合評価をBとした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	【事業】 ・3.昨年度の課題①の館外事業の充実についてはコロナ禍においても感染症対策を徹底し可能な限り事業を行い、子どもたちへ遊びの機会を提供した。自主事業として「まちだ〇ごと大作戦 棒サッカーで町を元気に大作戦」を町トレ友の会と共に実施、練習会や大会の開催を通して地域のネットワークが更に強固になった。3.昨年度の課題③の子どもたちの自主的な活動についてはコロナ禍の中でコロナのことを学びながら子どもたちの自主的は活動を促すためにウイズコロナの小春祭を行った。主体的に祭りを作り上げることにより、子どもたちの大きな成長がみられた。 3.昨年度の課題②のコロナ禍での来館者数の増加の努力については新企画として「マスキングテープでハガキを作る」「自然科学クラブ」等、子どもの好奇心を刺激する行事を行い、コロナでゲーム等部屋の中で過ごすことが多くなった子どもたちに物を作る楽しさ、自然の中の面白いこと・不思議な体験を実感させ、五感の発達がみられた。 【修繕】 ・施設定期点検報告書に記載された箇所について修繕を随時実施した。 【課題】 ・来館者数は、新企画の実施など努力したが、4月～6月休館(コロナ禍)のため増加には至らなかった。 ・需要の多い乳幼児イベントの実施回数を増やすことにより来館者数を伸ばしたい。 ・感染症対策を徹底しながらでも行える事業の更なる発展を考えなければならぬとつく感じている。 ・子どもたちの自主活動の更なる活発化へ向けて考えていきたい。	

【評価対象年度 2020年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2021年1月8日～2月27日 【配布枚数】(小学生～18歳)100枚、(保護者)100枚 【回収枚数】(小学生～18歳)100枚、(保護者)100枚 【回収率】(小学生～18歳)100%、(保護者)100% 【調査方法】調査票手渡し回収
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A:90%以上 B:75%以上90%未満 C:75%未満 ※4段階評価中、上位2層の占める割合	95%	98.0%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	95	95	95	95	95
実績値	98.0				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
来館者数	A:34,800人以上 B:29,000人以上34,799人以下 C:28,999人以下	33,350人	22,081人	C	
指定期間内における実績(単位:人)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	33,350	33,350	33,350	33,350	33,350
実績値	22,081				

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
事業参加率	定員を設定した事業の参加率の平均 A:90%以上 B:60%以上～90%未満 C:60%未満	90%	129.9%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	90	90	90	90	90
実績値	129.9				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	「利用者満足度(全体満足度)」は目標値を達成し、非常に高い水準を維持している。 「来館者数」は大幅に減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によるものである。 「事業参加率」は目標値を達成し、非常に高い水準を維持している。 以上を勘案し総合評価をBとした。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2020年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	利用者への平等な取扱い	利用者層に応じた事業の提供	利用者層に応じた事業を提供していたこととお便りや実績報告書にて確認した。	適
	施設情報等の発信	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	複数の媒体により情報を発信していたことを月のお便り・HP等にて確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・年間計画に基づく事業の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業計画に基づき事業を実施していたことを事業計画書及び実績報告書にて確認した。	適
	市への報告書類の提出	仕様書に定める期間内の提出	仕様書に定まる期間内に各種報告書類を提出していた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	日々の点検、施設の保守点検を適切に実施していたことを点検結果報告書にて確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	体制の整備について法人の個人情報保護規程にて確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	登録票や受付表等を鍵付書棚で保管していることを実施調査にて確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	体制の整備について法人の情報公開規定にて確認した。	適
要望対応	苦情対応体制の整備	苦情対応体制の構築	体制の整備について法人の苦情対応フロー及びマニュアルにて確認した。	適
	苦情窓口の周知	意見・苦情を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	窓口の周知及び意見箱の設置を実地調査にて確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	体制の整備について法人の危機管理マニュアルにて確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯及び交通安全等に関する訓練の実施	訓練の実施について訓練結果記録書にて確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	対応手順の整備について法人の危機管理マニュアルにて確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	仕様書に基づく配置	仕様書に基づき適切に職員を配置していたことをシフト表にて確認した。	適
	職員研修の実施	職員全員の研修の受講	職員全員が研修を受講していたことを研修受講一覧表にて確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	適切な執行に取り組んでいたことを収支決算書にて確認した。	適
	管理運営経費の縮減	経費の削減又は取組み	壊れた玩具を修繕するイベントを開催するなど経費の削減に取り組んでいたことを実地調査にて確認した。	適
地域貢献	地元団体との連携	地元団体との積極的な情報交換	青少年健全育成玉川学園地区委員会等に参加し情報交換を行っていたことを会議録にて確認した。	適
	市民雇用及び市内業者からの調達	町田市民の雇用又は市内業者からの調達	市民の雇用及び市内業者からの調達に努めていたことを職員調書及び請求書にて確認した。	適

【評価対象年度 2020年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2020年11月30日に、玉川学園子どもクラブこころ児童館でモニタリングを実施し、全ての確認事項で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2020年11月30日に、玉川学園子どもクラブこころ児童館でモニタリングを実施し、賃金台帳及び労働条件通知書の項目で「不適」であったが、改善策が提出されたため、2020年度は「適」とする。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理業務の履行状況は全ての確認事項が「適」であった。 会計・経理モニタリングは全ての確認事項が「適」であった。労働条件モニタリングは、賃金台帳及び労働条件通知書の項目で「不適」であったが、改善策が提出されたため、2020年は「適」とする。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2020		2021		2022		2023		2024		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	22,971	22,971	23,315		23,685		24,232		24,510	
	利用料金	—	—	—		—		—		—	
	雑収入	0	91	70		0		0		0	
	寄付等	0	0	0		0		0		0	
	計	22,971	23,062	23,385	0	23,685	0	24,232	0	24,510	0
支出	人件費	14,640	16,181	14,875		15,147		15,597		15,777	
	管理費	547	844	556		556		556		556	
	運営費	1,237	1,101	1,237		1,237		1,237		1,237	
	精算する経費	3,098	3,344	3,098		3,098		3,098		3,098	
	間接経費	3,449	1,434	3,549		3,647		3,744		3,842	
	計	22,971	22,904	23,315	0	23,685	0	24,232	0	24,510	0
総計(収入-支出)	0	158	70	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	3.9				
負債比率	68.4				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 経常利益率及び負債比率についても、適正な水準にあり、今後も安定した施設運営が可能であるとする。